

	題名	冒頭部	筆記用具	原稿用紙		別原稿
1	秋まつり	台風がきて/きのうこの町の川があふれた	鉛筆	B 4	1 枚	
2	現代の迷信	幸福になるには/たくさんの道具だてが必要だ、と	ボールペン	B 5	2 枚	
3	五月	町の人が/土手にいっぱい/ゴミをすてる	ボールペン	B 5 裏	1 枚	
4	子守唄	子どもよ/子ども/あなたのお母ちゃんは	鉛筆	B 5	2 枚	
5	佐渡のオンデコ	たいこ/からだの中でも鳴っている	鉛筆	B 5	1 枚	
6	しぐさ	人は/土をかけるしぐさで	鉛筆	B 4	1 枚	
7	死んでゆく五郎	四月十二日/私は、私の顔が	鉛筆	B 5	2 枚 (3 枚)	
8	政策のあそび	何がこう/私たちを遊ばせているのだろう	鉛筆・青	B 5	1 枚	
9	セルフタイマー	江の島を背景にして/若者たちが六人	鉛筆	不定型	1 枚	
10	小さい港	出て行ったから	鉛筆	B 4	1 枚	
11	千鳥ヶ淵	此の度、陛下から/骨壺が渡されました	鉛筆	B 5	1 枚 (の裏表に)	
12	地名	そのとき/前に立ったひとりの女性が/「網走」と言った。	鉛筆	B 5	2 枚	鉛筆/B5/2 枚 題名「遠い声」
13	どうしたものだろう	私鉄の/ちいさい駅の/ふみきりのほとりに	鉛筆	B 4	2 枚	
14	仲間	庭にスズメがきた	鉛筆	B 4	1 枚	
15	春の部屋	新しい年は/いっせいに/おとずれのけれど	鉛筆	B 4	1 枚	
16	日ぐれに	親も弟妹も/みんな私にむかってよこせ、というから	鉛筆	B 5	1 枚	
17	百枚皿	宴は終わりました	サインペン	B 4	1 枚	サインペン/B4・1 枚 題なし
18	宮古の巫女	祈る姿を	鉛筆	B 4	1 枚	草稿 鉛筆/B5・2 枚
19	山道	裏日光は湯西川のほとりに	鉛筆	B 4	3 枚	
20	ローマ展にて	紀元前一世紀の骨壺がひとつ	万年筆・青	B 5	2 枚×2	
21	無題	ある日ふと/打ち上げられ/われに返ったちいさい心	万年筆	B 4	1 枚	
22	無題	伊豆/いちじく にんじん みかん しいたけ	鉛筆	B 4	1 枚	
23	無題	一年に一度、私たちが/いのちのはじめに/立ちかえる	鉛筆	23×16cm	1 枚	
24	無題	いままでしてきた/どのしごとよりも/大仕事	鉛筆	B 4	1 枚	
25	無題	いちにち中/家にいると/空の色の移り変わりが	万年筆	B 4	1 枚	
26	無題	生まれたとき お乳をのむのと一緒に言葉をさずけられた	万年筆	B 4	1 枚	
27	無題	お正月/花札を使って/坊主めくりをした	鉛筆	16×18cm	1 枚	
28	無題	切手の値上りが/こころを/どんどん遠ざけます	鉛筆	B 4	1 枚	
29	無題	クルクル春/クルクルクルまわる地球	鉛筆	10.6×18.2cm	1 枚	
30	無題	健ちゃん/どこからきたの/遠くから来たのね	鉛筆	B 5	1 枚	
31	無題	公害ということばになれすぎてしまった/おおよけの害とは	鉛筆	B 5	2 枚	
32	無題	五月の夜は/猫が恋をする/恋はあきらめたけれど	ボールペン	B 5	1 枚	
33	無題	さびしくないの/私/とふたりだから/ひとり私は私	鉛筆	B 4	1 枚	
34	無題	芝生のみどりが/ところどころハゲている	鉛筆	B 5	1 枚	

35	無題	そよ風が/森の中を吹きすぎて行った	鉛筆	B 4	1 枚	
36	無題	デパートに行き/ズボンのかぎざき修理をたのんで	鉛筆	B 4	1 枚	
37	無題	都井岬の馬は/自分が馬であることを知りません	鉛筆	23×16cm	1 枚	
38	無題	ひん死の弟が/久しぶりに逢った見舞客に	鉛筆	B 5	1 枚	
39	無題	ふみきりの遮断機が下りてくる/遠くから電車が近づいてくる	鉛筆	B 4	1 枚	
40	無題	保険がないから/一日六百五十円の入院料が大変だ	万年筆	不定型	2 枚	
41	無題	ほんとうに/よく出来ている/これが/自然というものらしい	ボールペン	B 5	1 枚	
42	無題	みんなにふまれるのは、いやですね/でも/きの葉は落ちて	鉛筆	B 4	1 枚	
43	無題	やがて私も/死ぬのだろうか、とたずねると	鉛筆	B 5	1 枚	
44	無題	老後なんていつくるんですか/老人党なんて/入りたくないです	色鉛筆	19×24cm	1 枚	
45	無題	私は立っていた/(こちらの岸に)/みかんの木にはみかんが	万年筆/ボールペン	B 5	1 枚	
46	無題	私は/フミキリを渡って行きます。	鉛筆	B 4	1 枚	
47	家	まえに/住んだことのある/土地には	鉛筆	B 4	1 枚	
48	意中	庭のすずめをかんげいする	鉛筆	B 5	1 枚	
49	恩恵	恩恵的なのである。	ボールペン・緑	トイレットペーパー	2 枚	
50	かけてゆく	スタートしてすぐの マラソン競技は	鉛筆	B 4	1 枚	
51	焦げくさい花 (水盤)	焼け跡に/一台のこった小型トラックの荷台で	ボールペン・青	B 5	1 枚	
52	情報依頼	いつだったか/どこかの街に/詩の工場というのが出来た	鉛筆	B 5	1 枚	
53	日常	つまんでは口に入れる	青鉛筆	B 5	1 枚	
54	ぬけがら	去年の暮れ/といえばほんの一月前	鉛筆	B 5	3 枚	
55	無題	「明日」は/私の立っている	鉛筆	B 5	1 枚	
56	無題	弟よ/あなたが死んだとき	鉛筆	B 5	1 枚	
57	無題	ここまではなんとかやってきた	鉛筆	B 5	1 枚	
58	無題	魚は/下等な生物であります	鉛筆	B 5	1 枚	
59	無題	住所のあるのはつらいことだ	ボールペン・青	B 5	1 枚	
60	無題	背丈は/そこで/引き返し地点にきていました。	鉛筆	B 4	1 枚	
61	無題	太陽が/もし私たち/ひとりひとりに/まかれた	鉛筆	B 5	4 枚	
62	無題	たとえ ちいさな 窓辺に	鉛筆	B 4	1 枚	
63	無題	とっさに/シマッタ、と舌打ちすることもあるが、	鉛筆	B 5	1 枚	
64	無題	墓石をどけるのは/重たいから	鉛筆	B 5	1 枚	
65	無題	もう五月だ	鉛筆	B 4	1 枚	
66	無題	列車に乗ると/窓の外ばかりみている	鉛筆	B 5	1 枚	
67	無題	私の住んでいるアパートでは	鉛筆	B 4	1 枚	